2026年11月16日

各　位

会 社 名　株　式　会　社　F　C　E
代表者名　代表取締役社長　石川　淳悦
（コード番号：9564　東証スタンダード市場）
問合せ先　財務経理部 IRオフィサー　多氣　頌絵
（TEL 03-5908-1400）

「ロボパット AI Agent Studio」正式リリース

～AIとRPAの役割分担で、情報保護とAI利用コストの最適化を両立～

株式会社ＦＣＥ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：石川淳悦、証券コード：9564）は、株式会社PKSHA Technology（本社：東京都文京区、代表取締役：上野山勝也、証券コード：3993、以下「PKSHA社」）との共同開発にて、「ロボパット AI Agent Studio」を正式リリースすることをお知らせいたします。本製品は、専門知識やプログラミング知識がない現場担当者でもAIエージェントを作成・活用できるように開発されています。RPA「ロボパットAI」と組み合わせ、定型作業はRPA、分析・判断はAIが担うことで、業務の自動化範囲を広げます。すべての処理をAIに任せるのではなく、AIに渡す情報と任せる処理を必要な範囲に絞り、機密情報の保護と、トークン消費に伴うAI利用コストの最適化の両立を目指します。

Robo-Pat AI Agent Studio



・「ロボパット AI Agent Studio」の特徴

「ロボパット AI Agent Studio」は、2026 年３月の提供開始の発表以降、検証を重ね、現場担当者による AI エージェントの活用に向けて、以下の特徴を備えています。

RPA との連携で、情報保護と AI 利用コストの最適化を両立

定型作業を担う RPA「ロボパット AI」と、分析・判断を担う AI エージェントをシームレスに連携できます。機密情報の置き換えやメール送信などを RPA で行い、AI には必要な情報と処理だけを渡す構成にすることで、機密情報へのアクセスを抑えます。また、AI を使う処理を絞ることで、トークン消費を最適化し、AI 利用コストの節約につなげます。

直感的な操作性

RPA「ロボパット AI」と同様、専門知識のない現場担当者が直感的にエージェントを構成・管理できる操作性とユーザーインターフェースを実現しています。

PKSHA 社のコア技術を採用したエージェントをパッケージ提供

本製品は、PKSHA 社がエンタープライズ向けに展開する AI 基盤「PKSHA AI Agents Studio」をベースに構築されています。そのため、一から AI エージェントを作成しなくても自社の業務に高性能の AI エージェントが利用可能です。そこに当社が蓄積してきた現場部門向け DX 推進の知見を融合させることで、より自社の業務に AI エージェントを最適な形で取り入れることができます。

・具体的な活用例と利点

例えば、「Excel に入力された顧客売上情報を集計・分析し、社内に報告する業務」では、顧客名の置き換えやメール送信を RPA（ロボパット AI）で行い、集計・分析を AI（ロボパット AI Agent Studio）が担います。AI に顧客名を渡さずに分析を行うことで、機密情報の取り扱いに配慮した自動化を図ります。この役割分担の狙いは、「①AI に渡す機密情報やアクセス権を必要な範囲に限定すること」、「②定型作業を AI に処理させず、トークン消費に伴うコストを最適化すること」です。具体的には、次の手順で処理します。

手順①【RPA】顧客名を行番号に置き換え、AI に渡すデータから顧客名を除きます。
手順②【AI】「ロボパット AI Agent Studio」で、顧客名を除いた売上情報を集計・分析します。
手順③【RPA】分析結果の行番号を元の顧客名に戻します。
手順④【RPA】集計・分析結果をメールで社内に報告します。
※事前の確認を行う場合は、手順の間に人間のチェックを入れます。

AI（ロボパット AI Agent Studio）と RPA（ロボパット AI）による役割分担により、作業手順の全てを AI が自動化することに比べ、以下のように情報保護とコスト最適化の面において優位であると考えています。

【情報保護】顧客名の置き換えと復元を RPA で行うことで、AI に顧客名を渡さずに集計・分析できます。また、メール送信も RPA が担うため、この業務のために AI へ「メール全体が閲覧できるアクセス権限」を付与する必要はありません。

【コスト最適化】定型作業は定額で利用できる RPA に任せ、AI の利用を集計・分析に絞ります。すべての処理を AI で行う構成と比べ、AI が処理する情報や処理回数を抑えることで、 AI の利用に伴って生じるトークンコストの節約につなげます。顧客数や処理頻度が増える業務でも、定型作業の増加をそのまま AI の利用量増加につなげない構成を目指します。

なお、情報保護の効果は、AI に渡すデータの範囲やアクセス権の設定などに左右されます。また、トークンコストの削減効果は、業務内容・処理量・利用条件によって異なります。

・基本料金体系
初期費用：なし
利用料金：月額 10 万円～（購入金額を上限に、各種機能の利用が可能）
ユーザーアカウント料金：月額 800 円/1 アカウント

その他「ロボパット AI Agent Studio」の詳細については下記製品紹介ページをご確認ください。
https://fce-pat.co.jp/agent-studio/

・今後の展望
当社は、AI エージェントによる業務自動化の拡大に加え、機密情報の取り扱いと継続的な AI 利用コストにも配慮した活用を目指しています。「ロボパット AI Agent Studio」と「ロボパット AI」を組み合わせ、AI に任せる処理と RPA で実行する処理を適切に分担することで、顧客が情報保護とコストを意識しながら自動化を進められる環境を提供し、導入・継続利用を後押ししてまいります。
当社は今後も、「ロボパットシリーズ」の機能強化、パートナー制度の拡大、導入後の活用定着支援を通じて、導入企業の業務効率化と DX 推進を支援してまいります。

・「ロボパット AI」とは
導入企業数は 2,200 社（2026 年 9 月 11 日時点）を突破し、企業ユーザーからの評価が高かった IT 製品の Top50 を発表する「ITreview Best Software in Japan 2023」では、約 7,300 製品の中から第 1 位（※1 2024 年度には約 10,000 製品中、第 2 位※2）に、また最も評価された SaaS を表彰する「BOXIL SaaS AWARD 2025」では、4 年連続「BOXIL SaaS セクション」RPA 部門 1 位を受賞するなど、多くの方にご支持いただいています。

【お問い合わせはこちらから】
https://fce-pat.co.jp/contact/
【ロボパット AI に関する資料をダウンロードする】
https://fce-pat.co.jp/download/
【ロボパット AI に関する無料オンラインセミナーに参加する】
https://fce-pat.co.jp/seminar_index/

・株式会社ＦＣＥ
設立：2017 年 4 月 21 日
代表取締役社長：石川淳悦
証券コード：9564
本社：東京都新宿区西新宿二丁目 4 番 1 号
事業内容：DX 推進事業、教育研修事業、出版事業
URL：https://fce-hd.co.jp/

当社は「チャレンジあふれる未来をつくる」というパーパスのもと、人的資本の最大化に貢献することを使命とし、DX 推進事業と教育研修事業を展開しています。
【最強の IT ツール】として約 7,300 製品中第 1 位（2024 年度には約 10,000 製品中、第 2 位）を獲得した「ロボパット AI（https://fce-pat.co.jp/）」、社員教育を一つで完結できる定額制オンライン教育システム「Smart Boarding（https://smartboarding.net/）」、世界 5,000 万部、国内 270 万部発刊の世界的ベストセラー『7 つの習慣』の出版（https://fce-publishing.co.jp/）、そして企業の生産性を進化させる AI プラットフォーム「AI OMNI AGENT（https://www.fce-aiomniagent.com/）」など、中小企業から大企業まで、また全国の自治体や教育機関を対象に幅広く事業を展開しています。

※1 ITreview Best Software in Japan 2023 より　※2 ITreview Best Software in Japan 2024 より